

テーマ	標準原価計算（Ⅰ）				
学籍番号					氏 名

1. 標準原価を採用している経法工場の当月のデータに基づいて、仕掛品勘定を記入しなさい。なお、勘定記入方法はパーシャル・プランによること。

〔資料〕

(1) 製品 1 個あたりの原価標準

直接材料費	@¥100	×	2kg	=	¥200
直接労務費	@¥100	×	3時間	=	¥300
製造間接費	@¥150	×	3時間	=	¥450
					<u>¥950</u>

※直接材料はすべて工程の始点で投入する。

(2) 生産データ

月初仕掛品	150個	(1/2)
完 成 品	750個	
月末仕掛品	200個	(1/2)

※（ ）内は加工の進捗度を示す。

(3) 実際原価データ

直接材料投入額	¥162,500
直接賃金消費額	¥241,500
製造間接費実際発生額	¥360,550

仕 掛 品			
前月繰越	(86,250)	製 品	(712,500)
材 料	(162,500)	次月繰越	(115,000)
賃 金	(241,500)	原 価 差 異	(23,300)
製造間接費	(360,550)		
	(850,800)		(850,800)

授業の感想など	
---------	--

テーマ	標準原価計算（Ⅰ）																				
学籍番号											氏 名										

2. 標準原価計算制度を採用している花岡工場の A 製品に関する当月のデータに基づいて、仕掛品勘定および製品勘定の記入を行いなさい。なお、勘定記入方法はパーシャル・プランによること。

〔資料〕

- (1) A 製品 1 個あたりの標準原価

標準原価カード					
	(標準単価)		(標準消費量)		
直接材料費	@ 800 円	×	20 k g	=	16,000円
	(標準賃率)		(標準直接作業時間)		
直接労務費	@ 1,250 円	×	8時間	=	10,000円
	(標準配賦率)		(標準直接作業時間)		
製造間接費	@ 3,500 円	×	8時間	=	28,000円
単位当たり標準製造原価					54,000円

- (2) 製造データ

月初仕掛品	10 個	(30%)
完 成 品	150 個	
月末仕掛品	20 個	(60%)

※直接材料はすべて工程の始点で投入する。 ※ () 内は加工の進捗度を示す。

- (3) 原価データ

直接材料費実際消費額	¥2,314,000
直接労務費実際消費額	¥1,555,000
製造間接費実際発生額	¥4,210,000

- (4) 販売データ

月初製品在庫量	¥2,314,000
月末製品在庫量	¥1,555,000

仕 掛 品			
前月繰越	(274,000)	製 品	(8,100,000)
材 料	(2,314,000)	次月繰越	(776,000)
賃 金	(1,555,000)		
製造間接費	(4,210,000)		
原 価 差 異	(523,000)		
	(8,876,000)		(8,876,000)

製 品			
前月繰越	(2,314,000)	売上原価	(8,859,000)
仕 掛 品	(8,100,000)	次月繰越	(1,555,000)
	(10,414,000)		(10,414,000)

授業の感想など	
---------	--